



令和5年度 第1回 みんなで支える森林づくり上田地域会議

資 料

長野県森林づくり県民税の仕組み	2
これまでの上田地域における森林税活用事業の実施状況	3
第4期長野県森林づくり県民税について	7
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	12
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	15
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	18
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	24
令和5年度 上田地域の取組	27

令和5年(2023年)10月26日(木)
上田地域振興局林務課

長野県森林づくり県民税の仕組み

課税方式	個人県民税及び法人県民税の均等割の超過（上乗せ）課税方式				
超過税額	(個人) 年額：500円 (法人) 年額：現行の均等割額の5%相当額（1,000円～40,000円）				
税込規模	区分	個人	法人	計	※令和4年度の森林税収入見込みを基準に試算
	年間 (平年度)	約5.6億円	約1.3億円	約6.9億円	
実施期間	令和5年4月1日から5年間 (個人) 令和5年度分から令和9年度分まで (法人) 令和5年4月1日から令和10年3月31日の間に開始する各事業年度分				

※ 個人の納税義務者は県民全員ではなく、県民税均等割を納めている方(県民の約半数)が対象であり、次のア、イ、ウのいずれかに該当し非課税となる方や、税法上の控除対象配偶者・扶養親族になっている方で次のウに該当する方には課税されません。

ア 生活保護法の規定による生活扶助を受けている方

イ 障がい者、未成年者、寡婦又は寡夫で、前年の合計所得金額が125万円以下の方

ウ 前年の合計所得金額が、市町村の条例で定める金額以下の方

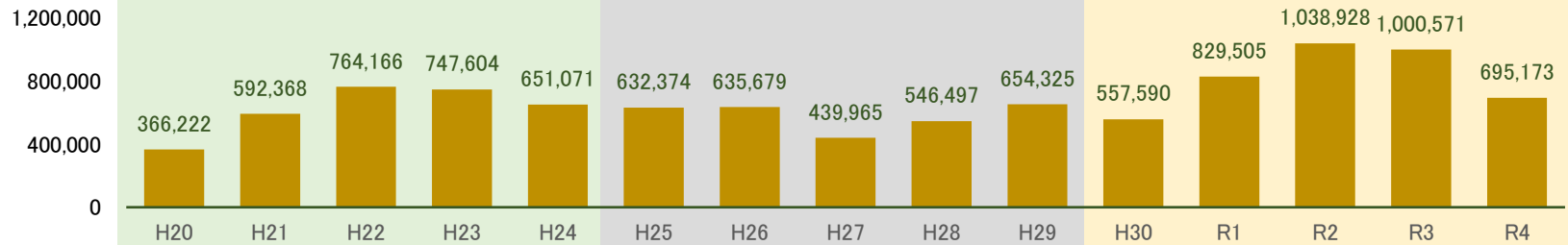
これまでの上田地域における森林税活用事業の実施状況

平成20年度～令和4年度(15年間)

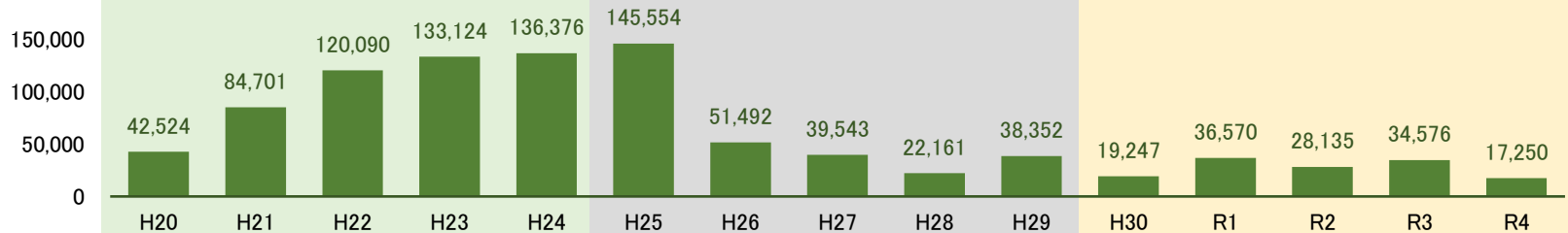
上田地域における森林税活用事業の実施状況 ①

第1期では保育(切捨)間伐を主体に活用していたが、第2期以降は林業生産活動の活性化(搬出間伐～主伐・再造林にシフト／国補事業を活用)により大幅に減少。

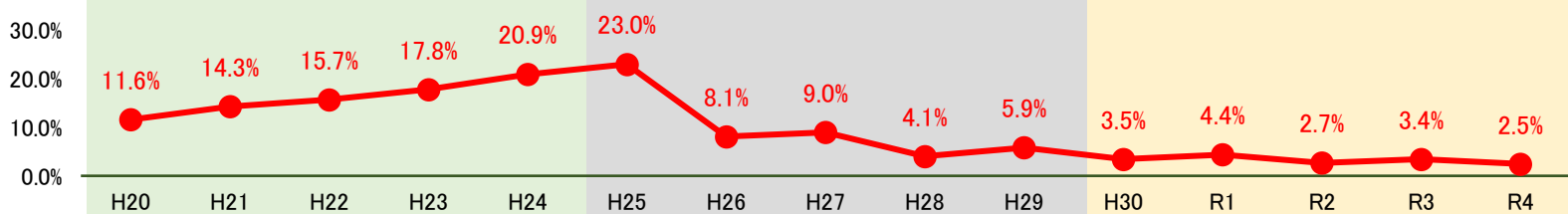
森林税活用事業の年度別実績(千円) 【①県全体】



森林税活用事業の年度別実績(千円) 【②上田地域】



上田地域の占有率(%) 【②上田地域／①県全体】



第1期森林税

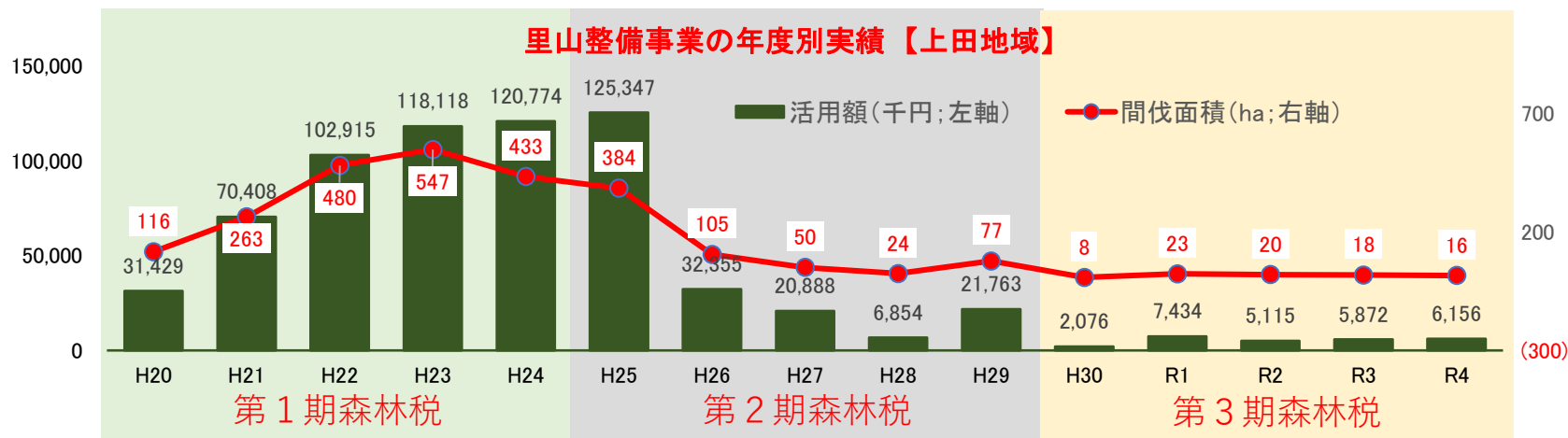
第2期森林税

第3期森林税

(資料：上田地域振興局林務課業務資料)

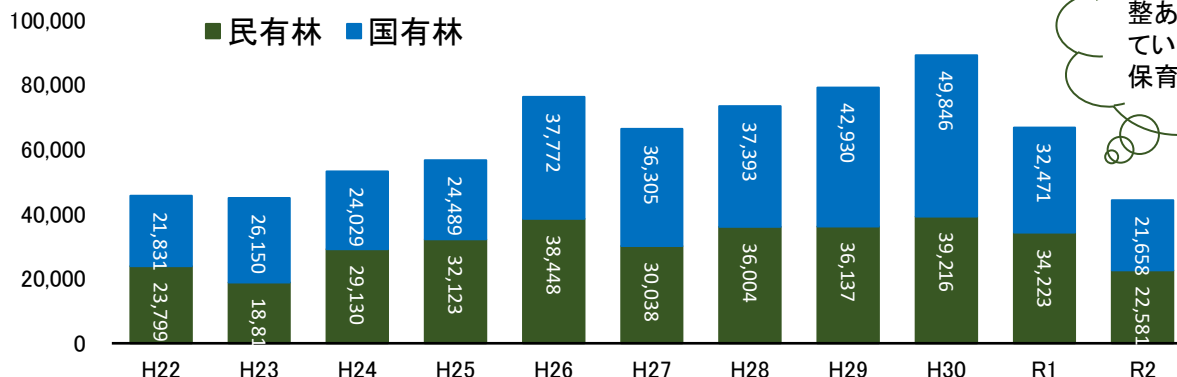
上田地域における森林税活用事業の実施状況 ②

第1期では保育(切捨)間伐を主体に活用していたが、第2期以降は林業生産活動の活性化(搬出間伐～主伐・再造林にシフト／国補事業を活用)により大幅に減少。



参考

上田地域の素材生産量(m³)の推移



R2はコロナ渦で生産調整あり、その後持ち直しているが、再造林に伴う保育作業も増加

上田地域における森林税活用事業の実施状況 ③

■ 活用率が比較的良かった主な事業

第3期(H30～R4)活用事業	① 県全体	② 上田地域	②/①
里山整備事業／ライフライン等保全対策分	224,449 千円	18,567 千円	8.3 %
木の香る暮らしづくり事業／「子どもの居場所」木質空間整備事業等	241,924 千円	21,430 千円	8.9 %
森林づくり推進支援金	448,086 千円	35,623 千円	8.0 %



令和4年度「子どもの居場所」木質空間整備事業／(有)田中製材工業(東御市)

■ 活用率が低位となった主な事業

第3期(H30～R4)活用事業	① 県全体	② 上田地域	②/①
里山整備事業／防災・減災、県民協働分	1,710,040 千円	26,654 千円	1.6 %
県民協働による里山整備・利用事業	202,166 千円	5,734 千円	2.8 %
学校林利活用事業	48,327 千円	432 千円	0.9 %
観光地等魅力向上森林景観整備事業	139,675 千円	562 千円	0.4 %



令和4年度みんなで支える里山整備事業【防災・減災】／信州上小森林組合(上田市真田町渋沢)

【参考】 里山整備利用地域認定状況 (R5.2.28現在)

地域	佐久	上田	諏訪	上伊那	南信州	木曾	松本	北アルプス	長野	北信	計
認定数	6	4	5	20	25	3	13	9	15	5	105
占有率	5.7%	3.8%	4.8%	19.0%	23.8%	2.7%	12.4%	8.6%	14.3%	4.8%	100%

第4期長野県森林づくり県民税について

令和5年度～令和9年度(5年間)

第4期（令和5～9年度） 長野県森林づくり県民税の概要

取組の柱、内容	金額（億円）
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	15.6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林を若い森林に更新する再造林を加速化（植林と初期保育に必要な標準的な経費を全額補助） ・ 防災・減災のために整備が必要な里山の間伐について、引き続きその整備を支援 	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	6.8
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民が自ら整備・利活用に取り組んできた里山について、多くの県民等が利用できる「開かれた里山」としての仕組みづくりや整備等を支援 ・ 多くの方が利用する施設等について木造・木質化を推進 ・ 学校林や「信州やまほいく認定園」におけるフィールド整備を支援 ・ まちなかの緑化や街路樹の整備などのグリーンインフラの整備を推進 	
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援	2.6
<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業との連携による森林整備や、健康・教育・観光などに森林を活用する森林サービス産業に取り組む団体等の支援、森林セラピー・エコツーリズム等に携わる人材の育成など森林の多面的な利活用を支援 ・ 森林・林業に関わる人材の裾野拡大や、他産業との兼業など多様な林業の担い手の確保・育成を支援 	
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	9.0
<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3期まで実施していた市町村毎の定額配分による森林づくり推進支援金については、森林環境譲与税との関係を整理したうえで、地域において必要度の高い事業に再編し、メニュー化して支援（支援内容：ライフライン等保全対策、河川沿いの支障木等伐採、観光地の景観や緩衝帯の整備、病虫害被害対策） 	
V 普及啓発、評価検証	0.4
合計	34.4

第3期森林税活用事業



第4期森林税活用事業

I 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山等の整備

①防災・減災のための里山整備
②ライフライン等保全対策、河畔林の整備
③県民協働による里山整備、地域活動推進
④里山整備のための集約化

II 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

⑤施設の木質化、木工体験
⑥薪利用の仕組みづくり
⑦松くい虫などの枯損木の利活用

III 森林づくりに関わる人材の育成

⑧里山を管理・利活用する人材の育成
⑨セラピー、エコツアー、自然教育等の多様な人材育成

IV 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

⑩学校林、やまほいくのフィールド整備
⑪まちなかの緑地整備
⑫観光地での景観形成のための森林整備等
⑬セラピー、自然教育等のフィールド整備

V 市町村に対する財政調整的視点での支援

⑭森林づくり推進支援金	※廃止するが主な用途はメニュー化
-------------	------------------

VI 森林づくりの理解を深める普及啓発及び森林税の評価・検証

⑮普及啓発、評価検証
⑯森林（もり）の里親
⑰CO2吸収の認証事業

I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり 15.6億円

新	1 再造林の加速化	11.3億円
	2 防災・減災のための里山整備	4.3億円

II 森や緑、木のめぐりに親しむことのできる環境づくり 6.8億円

新	3 県民が広く親しめる里山づくり	2.8億円
	4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等	2.0億円
	5 学校林ややまほいくのフィールド整備	0.6億円
	6 まちなかの緑・街路樹の整備	1.4億円

III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援 2.6億円

新	7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援	1.6億円
	8 多様な林業の担い手の確保・育成	1.0億円

IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決 9.0億円

9 ライフライン等保全対策	2.0億円
10 河川沿いの支障木等伐採	2.0億円
11 観光地の景観や緩衝帯の整備	2.0億円
12 病虫害被害対策	3.0億円

V 13 普及啓発、評価検証 0.4億円

総計 34.4億円

令和5年度以降の森林づくり県民税を活用した取組の概要（詳細）

I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

新

- 1 再造林の加速化
 - 再造林等の高上げ補助により主伐・再造林を促進し若い森林への更新を加速化
- 2 防災・減災のための里山整備
 - 土砂災害や流木被害等を防止するための里山の間伐等整備

II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

新

- 3 県民が広く親しめる里山づくり
 - 県民が広く利用できる「開かれた里山」の整備・仕組みづくり
- 4 広く県民が利用する施設等の木造・木質化等
 - 県民が利用する公共施設の木造・木質化
 - 民間施設や子どもが主に利用する施設の木造・木質化
- 5 やまほいくのフィールドや学校林の整備等
 - 信州やまほいく認定園のフィールド整備
 - 学校林の整備支援
- 6 まちなかの緑・街路樹の整備
 - 信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づくまちなかの緑化・整備
 - 街路樹の整備支援

III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

新

- 7 森林サービス産業など森林の多面的利用の支援
 - 森林の健康利用や森林環境教育、観光利用等に取り組む団体の活動支援
 - 森林を活用した新たなビジネスの起業支援
 - 森林（もり）の里親契約の促進（企業と地域のマッチング）
 - 森林セラピーやエコツアーリズム等のガイド、森林環境教育等の指導者、里山管理人材等の育成
- 8 多様な林業の担い手の確保・育成
 - 森林・林業に関わる人材の裾野拡大
 - 他産業との兼業や季節的な雇用など多様な林業の担い手への支援

IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決

市町村への定額配分による「森林づくり推進支援金」に替え、地域において必要度の高い事業をメニュー化して支援

- 9 ライフライン等保全対策
- 10 河川沿いの支障木等伐採
- 11 観光地の景観や緩衝帯の整備
- 12 病虫害被害対策

V 13 普及啓発、評価検証

- 県民会議の運営など森林税の普及啓発
- 事業の評価・検証

令和5年度森林づくり県民税活用事業（当初予算）

事業区分		R5予算額案 (単位:千円)	目標			担当 部局
事業名	事業概要		基本方針 の目標	5年間 の目標	R5年度 の目標	
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり		241,800				
1	信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育 の高上げ)	93,600	再造林面積 (ha)	2,900	260	林務部
2	防災・減災のための里 山整備	148,200	間伐面積 (ha)	1,500	400	
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり		129,390				
3	開かれた里山整備事業	34,400	里山整備利 用地域の箇 所数	50	10	林務部
4		21,190				
		55,590				
5	あたりまえに木のある 暮らし推進事業	38,550	木造・木質 化等の箇所 数	55	11	林務部
6		1,050				
7		400				
		40,000				
8	やまほいくのフィールド 整備や学校林の整備 等	5,800	フィールド 整備の箇所 数	40	8	県民 文化部
		(6,230)	学校林整備 等の箇所数	30	10	林務部
		(12,030)				
9-1	まちなかの緑・街路樹 の整備	6,000	緑地整備の 箇所数	10	2	建設部
9-2		12,000	緑地の 保全延長 (km)	32	6.4	
10	景観形成のための街路樹の整備・植樹	10,000	整備延長 (km)	20	4	
		28,000				

事業区分		R5予算額案 (単位:千円)	目標			担当 部局
事業名	事業概要		基本方針 の目標	5年間 の目標	R5年度 の目標	
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援		39,593				
11	森林サービス産業総合 対策事業	19,116	プロジェクト数	50	10	林務部
12		6,738				
		25,854				
13	地球温暖化防止吸収源 対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評 価認証制度)	309				
14	信州ネイチャーセン ター構築事業	1,900		25	5	環境部
15	多様な林業の担い手確 保育成事業	11,530		200	40	林務部
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決		205,887				
16	市町村森林整備支援事 業	66,600	整備箇所数	150	50	林務部
17		24,192	景観整備の 箇所数	100	20	
18		15,660	緩衝帯の 整備箇所数	100	20	
19		60,060	被害木処理材積 枯損木活用材積 (m ³)	5,400 10,000	1,080 2,000	
		166,512				
20	河畔林整備事業	39,375	整備箇所数	70	14	建設部
V 普及啓発・評価検証		8,200				
21	みんなで支える森林づ くり推進事業	8,200				林務部
合計		624,870				

第4期長野県森林づくり県民税 5つの柱

I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり

新 信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の嵩上げ）

R5当初予算額 312,000千円
（内、嵩上げ分 93,600千円）

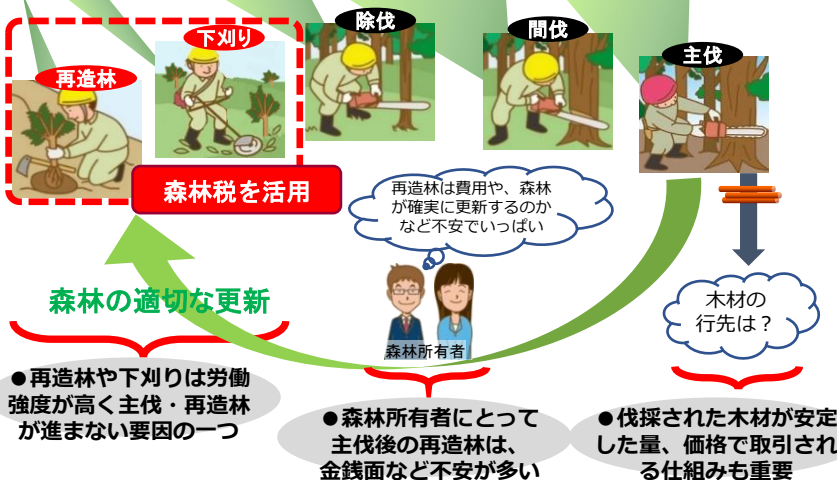
目的：2050ゼロカーボンの実現に向け、民有林人工林の8割が50年生を超える本県の森林がCO2吸収機能を発揮できるよう、国庫補助事業と森林税を組み合わせることで活用することにより、若い森林への更新を加速化

目指す姿：計画的な主伐・再造林により資源の循環利用を行う森林（地形や道路からの距離などの条件から算定した効率的な施業が可能な森林）を約10万haと想定し、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築
→ 当面5年後（R9）の再造林面積を年間1,000haとする（10年後には年間1,250haへ）

- 主伐・再造林推進ガイドライン（案）に基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援。併せて省力化・効率化等の取組を推進
 推進する取組例：①造林の省力化・効率化の推進 ②森林所有者との森林整備協定の締結 ③地域材の安定供給のための取引協定の締結 ④環境配慮の推進（生物多様性に配慮） ⑤獣害対策の推進（捕獲従事者と連携・協力したシカ捕獲の推進など）等
- 森林税を活用し、5年間で概ね2,900haの再造林等を支援

○ 補助率等

・補助率：10/10[※]（国庫及び一財 7/10、森林税 3/10） ・森林税：11.3億円（5年間） ※標準的な経費に対する補助率



支援対象のイメージ

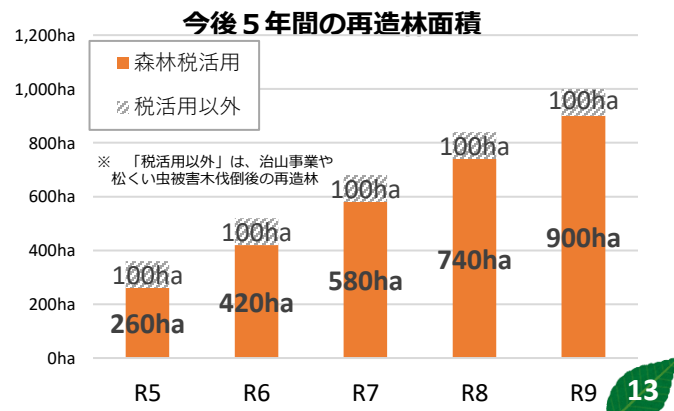
① 機械を用いた地ごしらえ作業
乗車型の機械を用いた下刈り作業

② 長期の森林整備協定
森林所有者 再造林後10年山を管理 林業事業者

③ 木材の安定供給取引協定
林業事業者 安定供給協定書 製材工場等

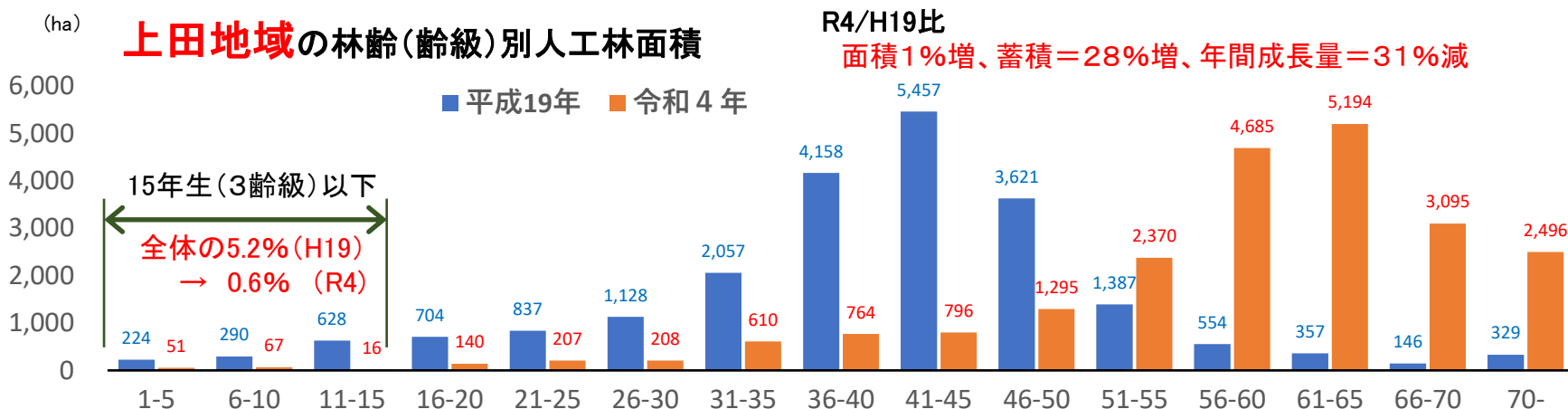
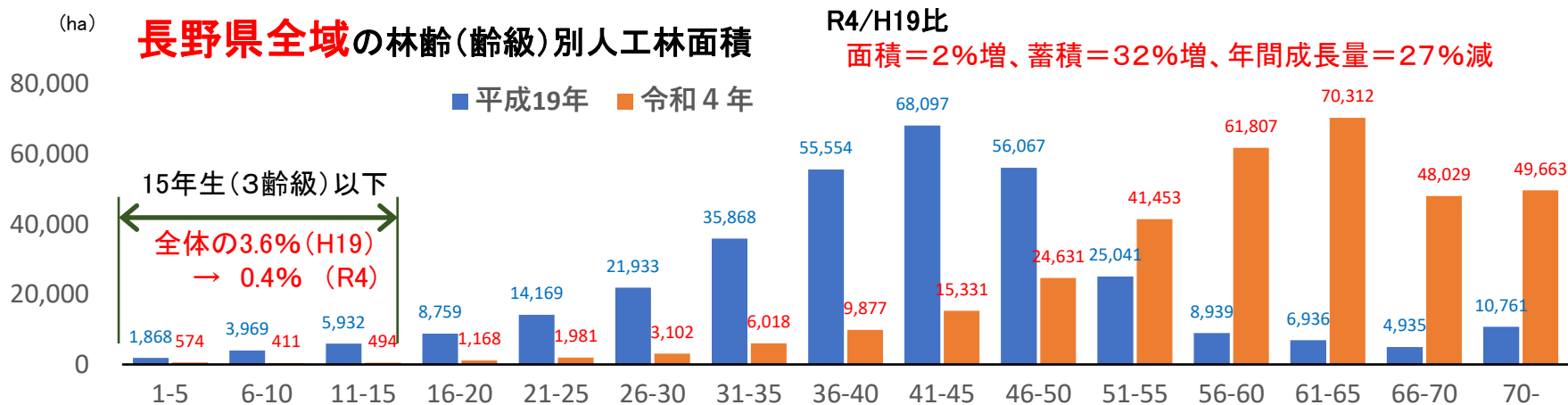
など

- 造林から主伐まで長期間を要する林業において、遅れている再造林を促進するためには、再造林等の初期段階における所有者負担軽減が重要
- 森林税を活用し、造林とその後の初期保育について重点的に支援することにより、森林所有者の負担軽減を図り、造林意欲を喚起



森林税導入前と現在の人工林の変化（成長／高齢林化）

着実に成長して蓄積量も3割増加し、施業の中心も間伐から主伐に移行。
年間成長量が減少、若齢林が著しく減少しており、主伐・再造林のよる若返りが必要。



(資料：長野県民有林の現況 平成19年4月版、令和4年9月版)

第4期長野県森林づくり県民税 5つの柱

Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり

- 長野県ふるさとの森林づくり条例に基づく「里山整備利用地域」は県内105地域まで増加
- 新たな森林税活用事業では「里山整備利用地域」の取組を更に進め、多くの人々が「レクリエーション」「健康づくり」「観光拠点」等として利用できる「開かれた里山」を重点的に支援（目標：5年間で50か所）

令和5年度事業概要

① (新) 開かれた里山の活用マニュアル作成、情報発信等 事業主体：県

- ・ 里山活利用の留意点や森林整備の手法を整理、「開かれた里山」の情報発信

「開かれた里山」の実践に向けた里山整備利用地域の支援

② (拡) 開かれた里山のスタートアップ、同意取得・合意形成の支援 補助率：10/10

- ・ 「開かれた里山の整備・利用計画」の策定や必要な活動経費、所有者の同意取得などを支援（2年間）

③ (拡) 開かれた里山における里山利活用の促進 補助率：3/4

- ・ 「開かれた里山」の活動に要する資機材等の導入を支援（承認後、上限補助額（75万円まで）上積み）

④ (新) 開かれた里山の整備 補助率：9/10

- ・ 「開かれた里山の整備・利用計画」に基づく修景林間整備、歩道開設等を支援

これまでの里山整備利用地域の取組の支援（継続）

⑤ (継) 里山利活用スタートアップ支援 補助率：10/10

- ・ 里山の自立的な利活用に必要な活動経費を支援（認定（初回利用）から3年間）

⑥ (継) 里山利活用の促進 補助率：3/4

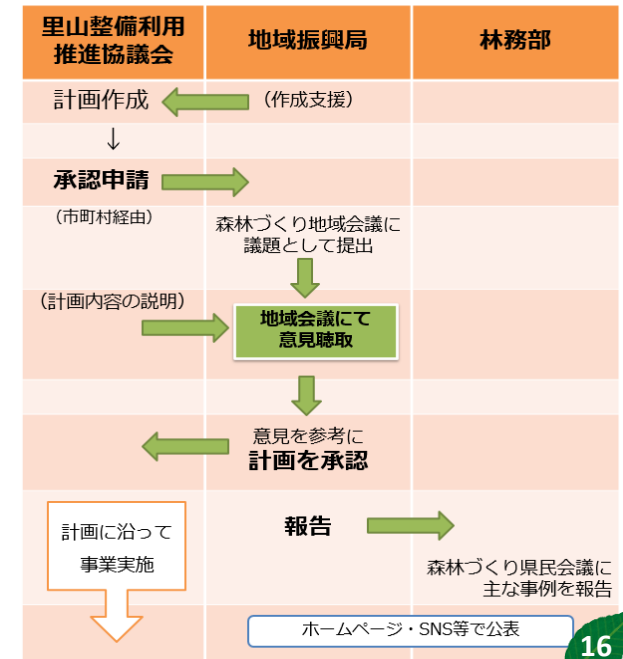
- ・ 自立的な活動に要する資機材等の導入へを支援（上限補助額（112.5万円）まで）

開かれた里山の活用マニュアル作成等
① 2,000千円

開かれた里山の整備・利用事業
(スタートアップ支援・利活用の促進) 19,190千円
② ③ ⑤ ⑥

開かれた里山の整備（森林整備）
④ 34,400千円

「開かれた里山の整備・利用計画」承認の流れ（案）



開かれた里山の整備支援（仕組みづくりや情報発信について）

本県の強みである「多種多様な里山」を、より多くの人々が身近に親しめる仕組みづくりを進めます

- 「広く親しめる里山」…地域住民の協働により整備・利活用が進む里山などで、県内外の多くの人々が訪れ、レクリエーションや健康づくり、観光拠点などにも活用される身近な森林
- 「ネーミング」……このような森林を包括的にPRするため、県民がわかやすく、親しみをもっていただける総称を検討するとともに、わかりやすい情報発信を工夫（例：「信州創造の森」「信州癒しの森」「里山ベースナガノ」など）

開かれた里山の仕組みづくり



利活用ルール、整備方針等の整理・マニュアル化・情報発信

開かれた里山の整備事業 50か所/5年間
 (県で認定する里山整備利用地域 = 105か所+a地域を対象)

開かれた里山の整備事業

- ・整備・利用マニュアル等の作成
- ・広く親しめる里山の情報発信
- ・開かれた里山の利活用活動支援
- ・必要な資機材等の導入支援
- ・開かれた里山の森林整備支援

既存の「開かれた里山」（上記以外）の情報発信

市町村等

市町村民の森
 長野市茶臼山公園
 飯田市野底山森林公園 等

県

県民の森
 大平峠県民の森
 (飯田市・南木曽町)
 美ヶ原県民の森(松本市)
体験学習の森(林業総合センター) 等

国

国有林
 レクリエーションの森
 おすすめ国有林
国立高遠青少年自然の家 等

既存の森林の情報発信

- ・先導的な取組の紹介
 県林業総合センター「体験学習の森」の森林教室・体験学習 等
- ・フィールド情報の提供
 国有林や市町村民の森の活用(滝超森林スポーツ林・白糸の滝風致探勝林 等)
- ・NPO、企業、団体等との協働
 NPO法人やまぼうし自然学校、NPO法人ピッキオ等県内で活躍する団体との協働

第4期長野県森林づくり県民税 5つの柱

Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

7【新】森林サービス産業など森林の多面的利活用

目的：健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用することで交流人口を増加

目指す姿：地域主体の質の高いサービスを提供することで、山村地域の内発的な発展を推進
 → 森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数：概ね50プロジェクト/5年間 等

○事業概要

森林の多様な利活用を推進するための人材育成やNPO等の団体活動、企業連携、創業など、森林の利活用に関する活動を支援

■森林の利活用

- 森林を健康・教育・観光等の多様な分野で利活用する
「森林サービス産業」に取り組む団体等への支援
- 森林を活用した新たなビジネスを立ち上げるための
スタートアップ支援（森林のMTB利用など）
- 企業との連携による森林整備や利活用の促進
（企業と地域とのマッチング）

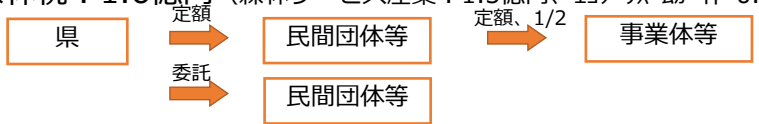
■人材の育成

- 森林セラピーやエコツーリズム、環境教育のコーディネーター・ガイド・指導者等の育成
- 里山の整備や利活用をリードする指導的な人材の育成

○補助率等

上記業務を一括して支援する団体（民間団体等）に事業委託予定

- 補助率：ソフト定額、ハード1/2
- 森林税：1.6億円（森林サービス産業：1.5億円、エコツアー補助金0.1億円）



多様化・高度化する森林の利用形態（事例）

健康

- 森林セラピー
- クアオルト
- 森林浴

教育

- 森林環境教育（幼少期から小中高校）
- 自然体験（生涯学習）

観光

- キャンプ、グランピング
- フォレスト・アドベンチャー
- MTB、トレイルラン

企業活動

- 森林の里親（支援活動）
- 森林ボランティア
- 社員研修

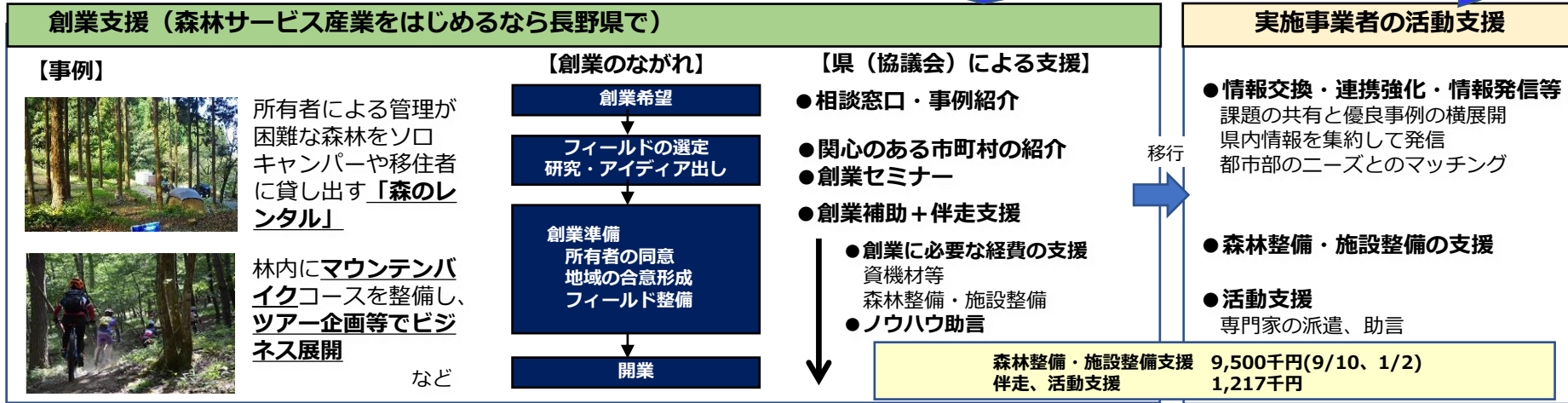
▶ 山村地域における経済循環や関係人口の増加を図るため、様々なアイデアでビジネス展開する**森林ベンチャーの支援**など、森林空間を健康・観光・教育等の多様な分野で活用する「**森林サービス産業**」を振興

【目標5年間で50プロジェクト】

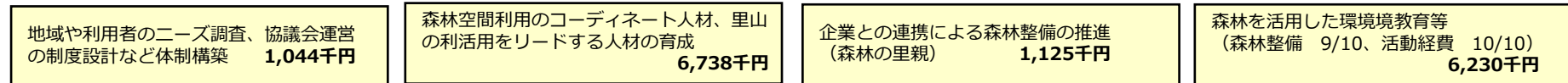
■ 全国をリードする「森林サービス産業県」を形成

新たな森林ベンチャーの育成

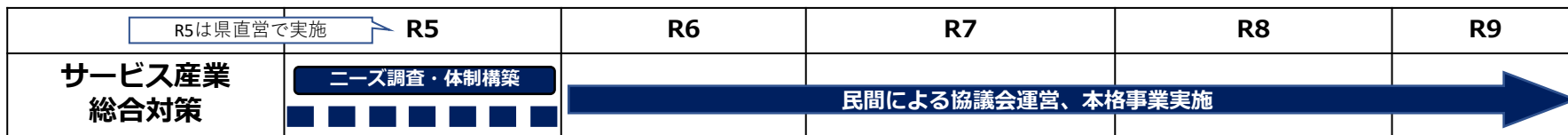
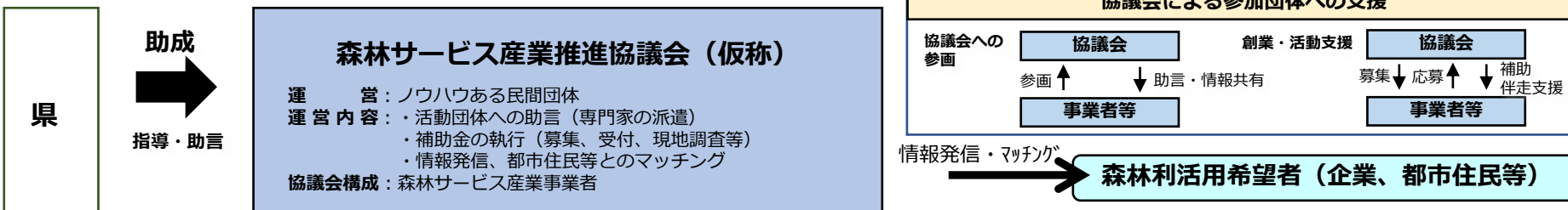
発展



■ 体制の整備や人材の育成等



■ 事業の運営スキーム（R5の制度設計を踏まえて構築）



Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援

8【新】多様な林業の担い手の確保・育成

目的：多様な林業の担い手である小規模事業者の活動を支援するとともに、林業の認知度の向上により、新規就業につながり得る潜在的な就業希望者を拡大

目指す姿：多様な人材による森林・林業への関わりの拡大、小規模事業者の機動性を活かした他産業との兼業や季節的な雇用など林業への多様な関わり方の定着
 → 多様な林業に関わる新規就業者数：概ね200人/5年間

○事業概要

職業としての「林業」の認知度の向上により、潜在的な新規就業者の拡大に取り組むとともに、小規模林業事業者に対する人材確保策対策を講じることで、林業を支える裾野の担い手となる就業者を確保

■森林・林業に関わる人材の裾野拡大

- ・ 中学校における職業体験
- ・ 林業関連イベントや就業希望者等への体験活動

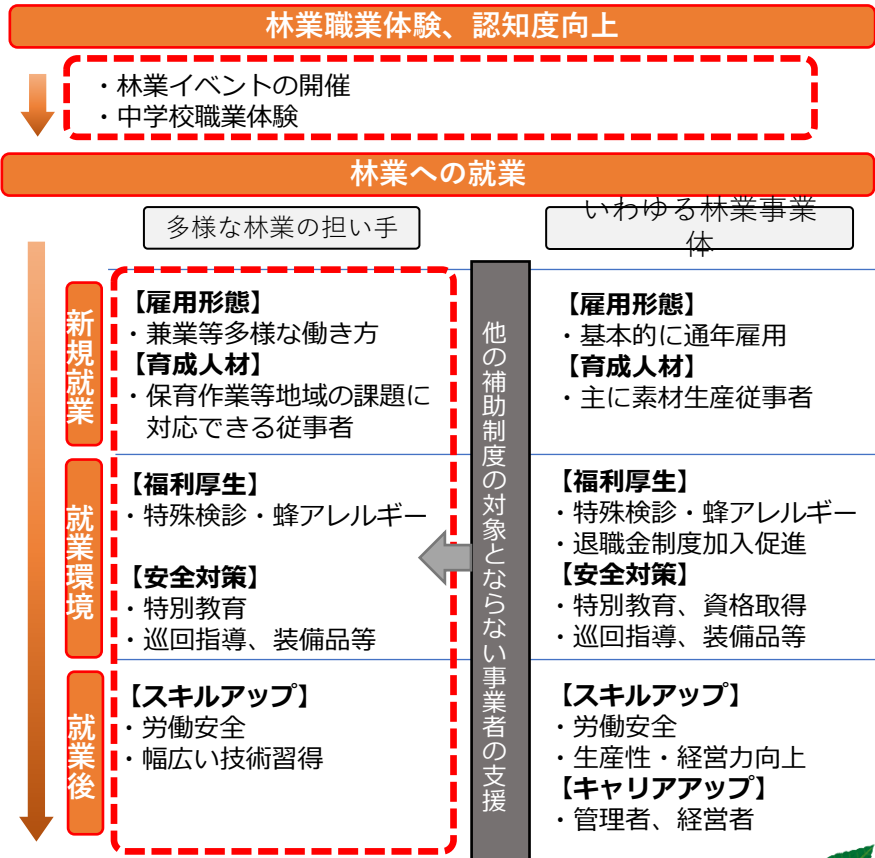
■多様な林業の担い手への支援

- ・ 他産業との兼業や林福連携に取り組む事業者に対する給付金
- ・ 就業に必要な装備品等に対する準備金の支給
- ・ 特別教育や特殊検診等の職場環境の改善を図る事業者の支援

○補助率等

上記業務を一括して支援する団体（民間団体等）に事業委託予定

- ・ 補助率：定額
- ・ 森林税：1.0億円



- 主伐再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える**林業人材の確保・育成を図るため、林業労働力関連予算を倍増**
- これまでの施策に加え、新規就業支援金や小規模事業者の支援など、効果的な施策を講じることで、**全国トップクラスの働きやすい林業県づくりを推進**

令和5年度重点施策

(A B: 事業の対象者 (次ページ))

① 新規就業者の確保

<転職・移住者に注目し新たに支援> (A B)

新 転職・移住者への支援金給付等 27,596千円

- ・新規就業支援金
 転職者 10万円/人 (70人)
 移住者 100万円 or 60万円 (36人)
 (3大都市圏からはUIターン支援金対応)
- ・先輩就業者への相談体制の構築

就業希望者等へのセミナー等開催 6,678千円

- ・共同就職説明会 (年2回)
- ・林業セミナー (年6~7回)

② 保育従事者の確保

<要件緩和や施策拡充> (A B)

拡 保育従事者新規雇用支援 16,103千円

- ・保育従事者の確保のための奨励金
 12万円/月 (最長3ヶ月分) (50人)
- ・新規採用者の資格取得費用補助
 (チェーンソー、刈払機) 10/10 (各20人)

拡 保育従事者のマッチング 4,307千円

- ・保育従事者を雇用する事業者と素材生産事業者の圏域を越えたマッチング

③ 多様な担い手の確保

<これまで支援策なし> (B)

新 多様な林業の担い手確保支援 11,530千円

- ・事業者への新規就業者に必要な機械や安全装備等に対する準備金 10万円/人 (40人)
- ・安全装備品 (1/2)、福利厚生 (1/3) の支援
- ・兼業、林福連携 受入れ支援 3万円/回
- ・中学校の職業体験、イベント開催等認知度向上

④ 創業チャレンジの応援 (B)

新 創業による新規事業展開支援 4,000千円

- ・創業に必要な機械等の導入 1/2
- ・上記のほか制度資金による設備、運転資金の支援

⑤ 定着促進 <経営基盤の強化や生産性の向上、就業環境の改善や安全対策の強化> (A)

拡 持続的な林業経営支援 7,443千円

- ・キャリアモデルの作成
 (優良モデルの分析や紹介)
- ・経営力・生産性の向上 (スキルアップ講習)

拡 安全対策の強化 12,839千円

- ・巡回指導、安全講習
- ・安全装備品 1/2
- ・指導者の育成、VRシミュレーター導入

就労条件の整備 14,291千円

- ・退職金共済掛金補助 1/3
- ・特殊健康診断、蜂アレルギー検査等補助1/3

全国でもトップクラスの働きやすい林業県を目指して

都道府県数

林業への就業を伴う移住支援	8	新 新 新 拡 拡
林業への転職への支援	1	
小規模事業者への支援	14	
新規就業者の雇用に関する奨励金	12	
保育従事者の確保	10	

全てに対応
長野県のみ
 R4.11長野県調べ

(長野県を除く都道府県数)

就業相談・補助金窓口のワンストップ化による利便性の向上



就業相談等
 助言 (就業前)
 給付金支給 (就業後)

**林業労働力確保
 支援センター**
 ((一財)県林業労働財団)

補助申請
 補助金交付
 経営指導

林業事業者

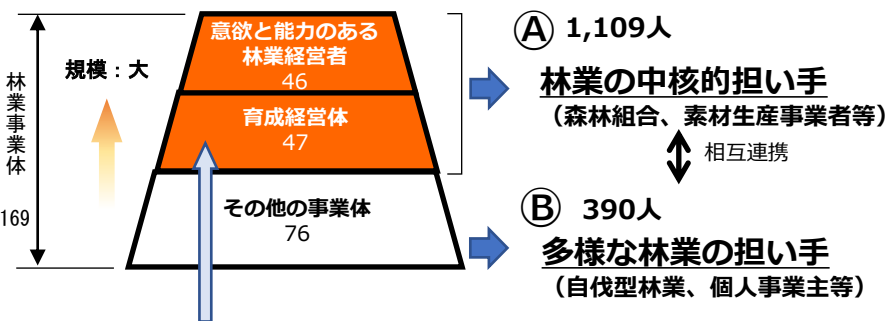
新規就業者目標 120人/年 (5年間で最大100人の増員 (就業者1,500人→1,600人) を目指す)

林業人材の確保・育成（就業に係る各段階での支援策等）

- ▶ 林業就業者の確保に向け、裾野の拡大から就職、就業後の定着促進に至るまで、各段階での体系的かつ総合的な支援策を措置
- ▶ これにより、ここ2年増加傾向にある林業就業者について、例年以上となる新規就業者120人/年を確保し、主伐・再造林の推進等に必要な人員を確保

事業体（就業者）の構造

人材の確保・育成 R3：1,499人（R2：1,449人、R元：1,446人）



就業後（定着促進）
〔事業者向け〕

A 林業の中核的担い手

- **新規就業者の育成（緑の雇用）**
 - ・就業準備金
 - ・研修費用・指導者130～140万円/人
- **就業環境の整備** **拡**
 - ・退職金共済加入等福利厚生の充実
 - ・安全装備
- **スキルアップ**
 - ・スマート林業、高性能林業機械

B 多様な林業の担い手

- **多様な林業の担い手対策** **新**
 - ・就業準備金
 - ・兼業、林福連携支援
 - ・安全福利厚生対策
 - ・起業・創業支援

共通

- **保育従事者の確保・新規就業者の確保** **拡**
 - ・圏域を越えた労働力のマッチング、新規雇用の奨励、資格取得支援
- **林業労働安全の強化** **拡**
 - ・安全巡回指導、安全装備、指導者の育成等

目標： 新規就業者120人/年
(過去5年平均約100人/年)

特徴： 他産業からの転職（約6割）が多い
県外からの移住（約3割）

就業意欲の喚起

↑ **林業事業体への就職**

就業準備・支援
〔個人向け〕

- **転職・移住支援** **新**
 - ・キャリアチェンジ10万円/人
 - ・移住支援60万円or100万円/人
- **情報の収集**
 - ・林業セミナー（年6～7回）
 - ・林業前研修（20日間）
 - ・現場見学会（年数回）

- **相談体制の構築** **新**
 - ・先輩就業者の相談窓口の設置
- **将来像の提示・定着促進** **拡**
 - ・キャリアモデルの作成
- **就職先とのマッチング**
 - ・共同就職説明会（年2回）
 - ・就業相談

↑ **裾野の拡大**

C 林業の認知度の向上

- ・森林環境教育、学校林の活用等
- ・中学生の職業体験、高校生体験研修
- ・イベント、森林・林業体験

C 地域人材の育成

- ・コーディネーター、地域リーダー育成

D 木曾谷・伊那谷フォレストバレーの形成

- ・林業大学校カリキュラムの見直し
- ・森林・林業関連機関の連携や人材確保
- ・森林・林業関連産業の起業支援
- ・関係機関による協議会設置

23

第4期長野県森林づくり県民税 5つの柱

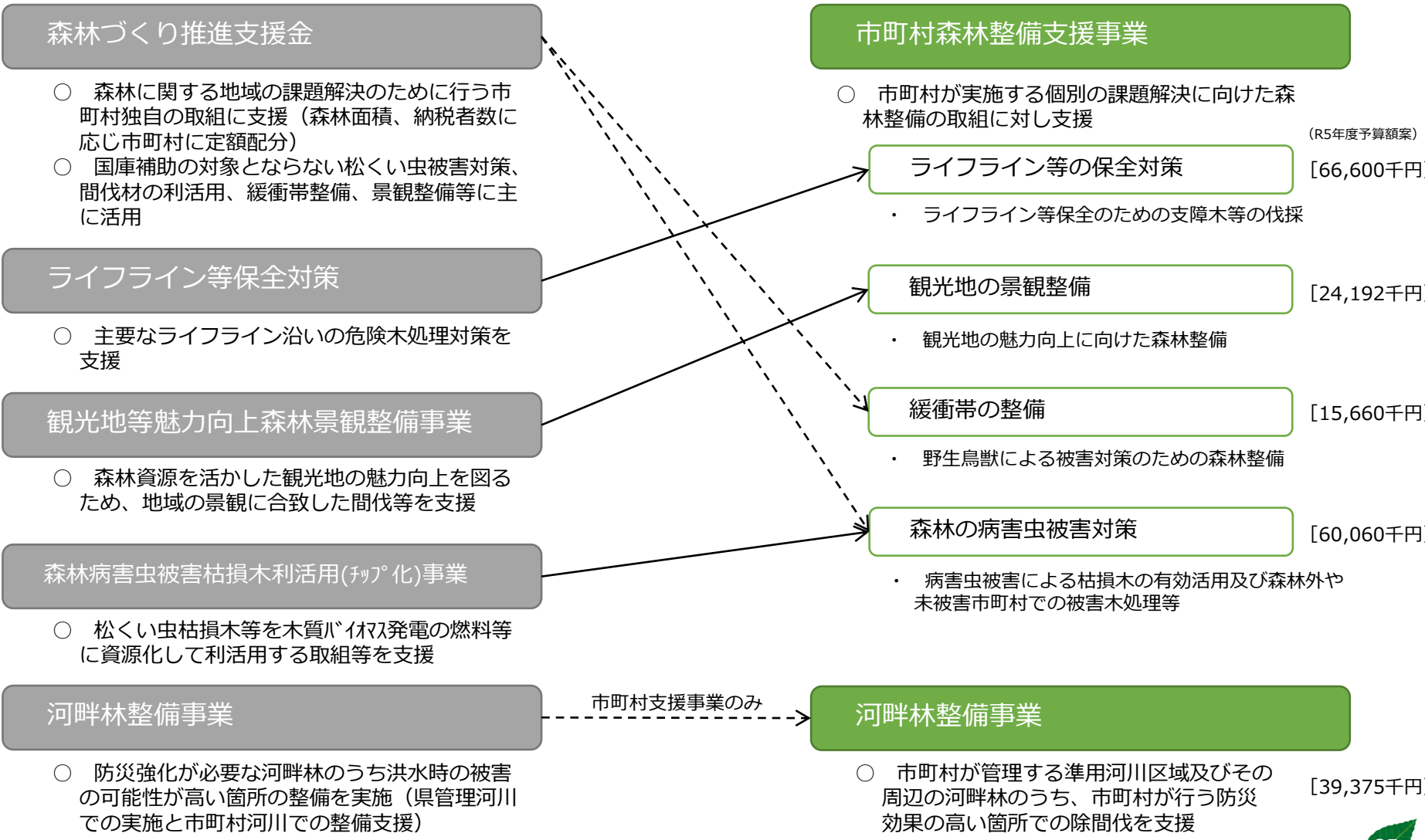
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決

IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決

※市町村に対する主な支援事業の比較

第3期 (H30~R4)

第4期 (R5~R9)



建設部事業

これまで市町村への定額配分により実施してきた森林づくり推進支援金に替え、ライフライン沿いの危険木の伐採や国庫補助対象外の病害虫被害対策など、地域の課題解決に向けた市町村による森林整備の取組を支援する補助事業を創設

区分	事業内容（補助率）	R5予算額	事業目標 (上段:R5、 下段:5年間)
ライフライン等の保全対策	<p>ライフライン等保全のための支障木等の伐採（9/10以内）</p>  <p>支障木等の伐採</p>	66,600千円	50箇所 150箇所
観光地の景観整備	<p>観光地の魅力向上に向けた森林整備（9/10以内）</p>  <p>実施前 実施後</p>	24,192千円	20箇所 100箇所
緩衝帯の整備	<p>野生鳥獣による被害防止のための森林整備（9/10以内）</p>  <p>実施前 実施後</p>	15,660千円	20箇所 100箇所
森林の病害虫被害対策	<ul style="list-style-type: none"> 病害虫被害による枯損木の有効活用（9/10以内） 森林外や未被害市町村での被害木処理等（1/2以内）  <p>枯損木の活用 被害木の処理</p>	60,060千円	3,080m ³ 15,400m ³

令和5年度 上田地域の取組

森林の若返りの促進 人工造林・下刈り等の初期保育への支援

【市町村】	額の確定している箇所			今後申請予定箇所		
	面積(ha)	標準事業費 (円)	森林税嵩上額 (円)	面積(ha)	標準事業費 (円)	森林税嵩上額 (円)
上田市	37.70	23,472,000	7,041,600	78.21	52,704,000	15,811,200
東御市	14.96	9,777,000	2,933,100			
長和町	22.49	14,271,000	4,281,300	17.98	10,289,000	3,086,700
青木村	8.76	4,992,000	1,497,600	28.24	9,860,000	2,958,000
合計	83.91	52,512,000	15,753,600	124.43	72,853,000	21,855,900

※地拵え・植栽は面積をダブルカウントしているため、人工造林面積とは一致しない。

信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)	① 県全体	② 上田地域	②/①
額の確定している箇所のみ	93,600千円	15,754千円	17%
上記プラス今後申請予定箇所がすべて実施された場合		37,610千円	40%

森林の若返りの促進 人工造林・下刈り等の初期保育への支援

額が確定している箇所

市町村	箇所	面積(ha)	作業種別	標準事業費 (円)	森林税高上額 (円)	備考
上田市	北倉沢	4.82	植栽	3,339,000	1,001,700	森林組合
上田市	北倉沢	4.82	下刈	1,234,000	370,200	森林組合
上田市	科平	1.67	植栽	1,156,000	346,800	森林組合
上田市	科平	1.67	下刈	427,000	128,100	森林組合
上田市	日影入	2.95	植栽	2,848,000	854,400	森林組合
上田市	狐石	5.45	地拵え・植栽	10,440,000	3,132,000	森林組合
上田市	狐石	5.45	下刈	1,395,000	418,500	森林組合
上田市	浦ナシ	1.67	地拵え	1,040,000	312,000	財産組合
上田市	浦ナシ	2.20	地拵え	946,000	283,800	財産組合
上田市	浦ナシ	1.55	地拵え	647,000	194,100	財産組合
東御市	祢津大室	7.48	地拵	4,595,000	1,378,500	森林組合
東御市	祢津大室	7.48	植栽	5,182,000	1,554,600	森林組合
長和町	南李2	6.13	地拵え	3,765,000	1,129,500	森林組合
長和町	南李2	4.89	植栽	4,720,000	1,416,000	森林組合
長和町	南李2	6.13	下刈	1,569,000	470,700	森林組合
長和町	高岩	2.67	地拵	1,640,000	492,000	森林組合
長和町	高岩	2.67	植栽	2,577,000	773,100	森林組合
青木村	沓掛中原	2.92	地拵え・植栽	4,245,000	1,273,500	森林組合
青木村	沓掛中原	2.92	下刈	747,000	224,100	森林組合
計	12か所	83.91		52,512,000	15,753,600	

森林の若返りの促進 人工造林・下刈り等の初期保育への支援

今後申請予定箇所 その1 (R6に送る場合、実施しない場合もあります)

市町村	箇所	面積(ha)	作業種別	標準事業費 (円)	森林税高上額 (円)	備考
上田市	巢栗6団地	3.35	地拵	2,057,000	617,100	森林組合
上田市	科平	1.67	下刈2回目	367,000	110,100	森林組合
上田市	石清水3	6.56	地拵え・植栽	8,447,000	2,534,100	森林組合
上田市	狐石	5.45	下刈2回目	1,199,000	359,700	森林組合
上田市	二ノ洞	2.00	地拵え・植栽	2,575,000	772,500	森林組合
上田市	宮本町	1.00	地拵え	531,000	159,300	森林組合
上田市	十ノ原	8.87	地拵え	4,360,000	1,308,000	森林組合
上田市	十ノ原	8.87	植栽	8,978,000	2,693,400	森林組合
上田市	浦ナシ	5.42	植栽	5,883,000	1,764,900	財産組合
上田市	ナラノキ	4.97	地拵え・植栽	10,121,000	3,036,300	財産組合
上田市	前熊久保	6.76	下刈	1,903,000	570,900	財産組合
上田市	赤坂	4.88	地拵え・植栽	6,283,000	1,884,900	森林組合
長和町	水沢	8.00	地拵	4,248,000	1,274,400	森林組合
長和町	オモザワ	3.40	地拵	1,805,000	541,500	森林組合
長和町	宮城	3.29	地拵	1,747,000	524,100	森林組合
長和町	宮城	3.29	植栽	2,489,000	746,700	森林組合
青木村	田沢萱尻	8.50	地拵え	4,514,000	1,354,200	森林組合
青木村	田沢下横手	2.81	忌避剤(水和剤)	401,000	120,300	森林組合
青木村	田沢下横手	1.73	忌避剤(水和剤)	247,000	74,100	森林組合

森林の若返りの促進 人工造林・下刈り等の初期保育への支援

今後申請予定箇所 その2 (R6に送る場合、実施しない場合もあります)

市町村	箇所	面積(ha)	作業種別	標準事業費 (円)	森林税高上額 (円)	備考
青木村	田沢南明通	1.13	忌避剤(水和剤)	161,000	48,300	森林組合
青木村	田沢下嶺裏	0.52	忌避剤(水和剤)	74,000	22,200	森林組合
青木村	沓掛中原	2.92	忌避剤(水和剤)	417,000	125,100	森林組合
青木村	夫神月波山	1.30	忌避剤(水和剤)	185,000	55,500	森林組合
青木村	田沢安宅	3.51	地拵え	1,864,000	559,200	森林組合
青木村	田沢地獄澤	2.23	地拵え	1,184,000	355,200	森林組合
青木村	田沢下嶺裏	0.67	下刈2回目	171,000	51,300	森林組合
青木村	沓掛中原	2.92	下刈2回目	642,000	192,600	森林組合
計		124.43		72,853,000	21,855,900	

市町村と連携した森林等に関連する課題の解決

市町村森林整備支援事業 実施計画

市町村	箇所名	メニュー	細メニュー	事業費 (千円)	補助金額 (千円)	事業量	単位	実施内容
上田市	上田市上丸子 (腰越)	森林の病害虫被害対策	枯損木利活用	2,162	873	169.0	m3	松くい虫被害枯損木のバイオマス利用
上田市	上田市内全域	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	6,000	900	300	本	松くい虫被害木の伐倒駆除等
東御市	西海野	ライフライン等の保全整備	—	809	720	14	本	危険木の伐倒処理
長和町	星糞峠縄文森林公園	観光地等の景観整備	—	300	270	16.9	ha	森林公園内遊歩道周辺の支障木伐採
長和町	学者村別荘地	ライフライン等の保全整備	—	800	720	20	本	危険木の伐倒処理
青木村	青木村田沢	観光地等の景観整備	—	850	765	63	m3	キャンプ場の支障木伐採
青木村	殿戸地区	ライフライン等の保全整備	—	1,830	1,225	60	本	危険木の伐倒処理
青木村	村松地区	森林の病害虫被害対策	森林外被害木処理	836	802	37	m3	松くい虫被害木の伐倒駆除等
合計				13,587	6,275			